≪前橋女子高等学校　イギリス研修　Day6（3 月 13 日）報告書≫

本日のケンブリッジは曇り。それでもこちらに来て一番暖かく感じる朝となりました。毎日、やれ曇りだ、やれ寒いだ報告していますが、周りの木々は芽吹き、桜や他の樹木も開花しております。到着時よりも更に植物からは春を感じられるようになりました。

ケンブリッジは非常にコンパクトな街で、シティセンターは端から端まで歩くことができるのですが、もちろん主要な交通機関は、生徒たちも皆利用している公共バスです。ただこちらで会う人皆口を揃えて言うのが、「バス、大変でしょう？」のコメント。語学学校のディレクターの Tim も、「分からないことは何でも聞いてね。ただしバス以外の質問ね」と冗談なのか本気なのか、これはケンブリッジジョークなのか。実際自転車の数がかなり多いです。街中には誰でも登録すれば利用できる自転車とあわせて、電動スクーターも多く見られました。

さて、語学研修 3 日目。今日はスペインのグループがエクスカーションに出かけたため、朝のカフェテリアは前女生とタイの生徒たちと数人。いつもより人口密度が低いためか、座ってゆっくり話しこむ姿も。他国生がいなくても、先生やスタッフもそこにいる人皆がターゲットです。自ら声をかけるという第一関門を突破すると、次は「会話がなかなか続かない」のフェーズに入ることが多いようですが、何だかいつも楽しそうに盛り上がっている生徒にコツを聞いてみると、「インスタを交換したら、そこからその人が何に興味があるかリサーチをしている。そこで共通の話題を見つけると盛り上がるんです。」とのこと。なるほど、コミュ力の裏側にはこういった工夫があったのですね！感心しました。

授業も充実してきている様子です。明日はプレゼンをするというクラスも。内容は「Friendly」について 2～3 分のスピーチを行うとのこと。シンプルなテーマ故に、どう話を展開させていくのか、これは今夜準備が必要ですね。

午後は Studio Cambridge から駅方面に Station Road を歩くこと 2 分。Clayton Hotel での Afternoon Tea 体験です。昨日ランチを食べすぎないように言ったのに・・・ラザニアに山盛りのポテトを堪能する無敵の十代。でもよく見ると、多少量の調整をしているようでした。ホテルに着くと、その素敵な雰囲気にエントランスから気持ちが上がります。2 階のバンケットには、席が既に用意されていました。シェフやスタッフの方から Welcome メッセージをもらい、更に気持ちが上がります。1 人 1 人紅茶のオーダーを取ってもらい、気持ちが最高に上がる中、ここからはゲストスピーカーセッションとなりました。今回の現地プログラムを手配している団体の代表マッキネスさん、Craig さんからの挨拶に続き、須藤倫子さんにご登壇いただきました。須藤さんは、Youth Mobility Scheme という制度を使い、今年の 1 月に渡英、現在はヨークに暮らしているとのことです。Youth Mobility Scheme とは就労を目的としたビザで、最長 2 年イギリスに滞在ができるとのことで、申請時に 18～30 歳であることが条件となります。渡英するきっかけとなったのは大学時代のイギリス短期留学と、入社直後にコロナの煽りを受けた航空業界で、客室乗務員として勤務をした経験とのことです。現在は政府のこの制度を利用し、ヨークで香港系の家庭にホームステイをしながら、Tea Room や教育関係のお仕事をかけもちされているそうです。慣れない土地での Job Hunt はやはり苦労の連続ともおっしゃっていましたが、4 か月後にはロンドンへの移住を視野にいれながら、「できるだけ物怖じせずにチャレンジしていく」ことをモットーに、日々成長できる今の環境を最大限に楽しんでいる様子が伝わってきました。等身大の須藤さんの話は、現在の生徒たちの経験とリンクする点も多く、多くの質問が出ていました。また、マッキネスさんからは 40 年に渡る英国生活の中で、キャリアの観点から日英の違いについてお話いただきました。また明日からのケンブリッジ大学生とのセッションに備えて、“Think like Oxbridge Students” という表現もあるように、別の角度で物事を見ること、興味を持ったら自らどこまでも深堀する探究心に触れることは、今後の大きなヒントになるとのメッセージをいただきました。

イギリス発祥の Afternoon Tea を堪能しながら、身も心も胃袋も最大限に満たされた本日の午後。一つだけお伝えすると、Clayton Hotel のスコーン、今まで味わったことのないくらい美味しかったです。

本日のカフェテリア

マッキネスさん　Craig さん　　須藤さん　　パティシエのハリーさん（中）